



長尾よかだより



発行日／2016 年 11 月 発行元／特定医療法人 順和 理事長／服部 文忠

目次

表紙 リハビリテーション医学会功労会員賞を受けて
P2 半側空間無視に対するリハビリ支援ゲームの開発
P3 各種検査について (シリーズ①)
P4 住み慣れた在宅生活に向けて

介護予防教室「65 歳からの健康づくり教室」実施中
P5 外壁補修工事お知らせ／「長尾病院前」
バス停に上屋とベンチが設置されました



リハビリテーション医学会功労会員賞を受けて

●浅山滉医師に聞く

この度は、リハビリテーション医学会功労会員賞を受賞された当院の整形外科担当であり、同医学会の専門医でもある浅山滉医師にお話を聞きました。

①まず、リハビリテーション医学会とはどのような学会ですか？

公益社団法人リハビリテーション医学会のことで、リハビリテーション（以下リハビリ）に関する医学の発展と知識の普及、学術文化の向上に関する事業を行い、医療及び社会福祉の充実に寄与することを目的としている学会です。

②リハビリ医学会の中で、様々な委員会に入られて尽力されたと聞いていますが？

だいたい 4～5 つ入っていました。例えば学会誌の編集委員、いわゆる機関誌の編集委員を 5 名でやっていました。この役割は送られてくる論文を査定したり、書き換え指示や論文投稿依頼などをしていました。他に、学術委員・施設認定委員・教育委員などを歴任しました。

③リハビリ医療に携わられたきっかけは？

私は医学部を 1963 年（昭和 38 年）に卒業しました。その時に全日本を包括した日本リハビリ医学会が創設されました。この必要性は以前から、内科系・整形外科系の先生たちが集まり論議されていました。その中には当法人先代理事長の服部一郎先生もずっと関与して

おられました。

私の入局（熊本大学整形外科）当時は、主任教授が玉井達二先生で「リハビリに一番重きを置いて、リハビリがない医療は医療ではない」と



言われていました。整形外科・リハビリの主な仕事は障がい者を診ることであり「リハビリは必然的に最後の最後まで診ないといけない」という考えがありました。米国で云う GP (General practitioner)、日本では総合診療医に該当します。しかし、日本では整形外科医が携わることが多いので、当然のようにリハビリに関わるようになりました。その後、ニューヨーク大学リハビリ科のレジデントも体験してきました。

④リハビリ医療とは？

リハビリ医療とは、身体的症状のみでなく、精神・心理面を含めて全般的に診る医療の一体型のことです。

今の既存の診療科というのはある部分だけしか見ない傾向があります。例えばお年寄りなどは脳卒中・高血圧・心臓病・腰も膝も痛いなどを患っておられて、同時に筋肉は落ちてフラフラして歩けない・片方が見えないとか、多くの疾患を同時にもっておられます。

(次ページへ)

それで一人の人間としてトータル的にケアするという姿勢が必要となります。それがリハビリだと思えます。だからリハビリの医師はものすごく他科の点まで勉強しなくてはなりません。

⑤長尾病院に来られて 14 年余りになりますが、主に どういうことに取り組んでこられましたか？

ここ（長尾病院）では、今まで整形外科的要素は少なかったので、まずは手足について勉強しないといけない分野がたくさんあることを理学療法士・作業療法士に気付いてもらうことでした。

私は整形外科医でもありまして、今まで手足の手術をしていたので筋肉・神経のあり方を十分理解することに努めました。それで、スタッフにその教育を心掛けてきました。

また、高齢者などには痛みの訴えが多いのですが、その対応には**装具の装着**が重要です。装具とは、正しいデザインで正しい位置に・正しい圧力で巻いたら薬も注射も要らなくなるのが普通です。装具の装着に加えて、注射併用・飲み薬併用・神経ブロック注射の併用などがあり、場合によっては**けいしゅく**が強いところには腱を切ったり、伸ばしたり、**腱形成術**など様々なものを組み合わせます。以上のようなことをやってきました。

⑥今から取り組みたいこと、普及させたいこと、働き かけたい分野はございますか？

脳卒中で足の変形が強い方に対して、簡単な手術で翌日からでも歩けるようにするために、**腱形成術**をやっています。これで患者さんにとって有効ですし、足部変形の強いときに巻いている大きい装具を簡単な装具に変えることができます。**腱形成術**を実施している病院はほとんど無く、当院の特徴であるので、これをアピールして普及させたいと思っています。「装具が合うなら痛みが止まる・注射や薬がいなくなる」という原理原則を捕まえて指導していきます。高齢社会では、今後ますます**装具**の力が増してくると思います。

▶(左から) UD フ
レックス AF0
(ロングタイプ)、
SPEX 伸展補助
装置付膝継手



浅山医師の外来診療について

- **診療**：月・水・木の午前 ※全て予約制
(水の午後は**痙縮**外来)
- **窓口**：外来看護師 / 森川・増永まで
- ☎ **電話**：092-541-2035

半側空間無視に対するリハビリ支援ゲームの開発

リハビリテーション部 作業療法士 仲村 有希

当院では九州大学と協力し、脳卒中の症状の一つである半側空間無視に対するリハビリ支援ゲームの研究を行っています。

半側空間無視とは、損傷を受けた大脳半球と反対側の視野の人や物に気付かなくなってしまう症状です。脳卒中では左側の半側空間無視の方が多く見られ、食事の左側を食べ残したり、歩いている際に左側にぶつかるような症状が報告されています。左側に注意を向けるようなリハビリを行いますが、患者さんによっては治療に



集中することができず、効果的なリハビリが難しい場面も多くみられます。今回の取り組みでは大型タッチパネルディスプレイを使用し、画面上で右側から左側へ移動するアニメーション

を迫りかけるゲーム（写真）を開発しました。

ゲームを楽しんで没頭しているうちに、自然に左空間へ注意を向けることができるという開発コンセプトとなっています。

第 53 回リハビリテーション医学会で発表し、

有意義なディスカッションを行うこともできました。

現在研究段階ではありますが、半側空間無視のリハビリの新しい選択肢として使用していきたいと考えています。

各種検査について（シリーズ①）

理事長 服部 文忠

現在の医療では各種の検査は欠かせません。結果について患者さんは医師の説明を受けませんが、わかりにくいことも多いと思うので、これから毎号で、各検査をわかりやすく説明していきます。第 1 回目はまず**血液・尿検査**の値について説明します。

血液検査で、値が正常範囲にあるとか外れているとかの説明がありますが、正しくは「基準値*」（*透析患者さんの診断基準値を記載する）といいます。基準値には「基準範囲」と「臨床判断値」があります。

「基準範囲」は健康と判定された人の 95% が入る値で、外れたから病気であるとは必ずしもいえません。「臨床判断値」の大部分は予防医学的見地から一定の対応が必要とされる目標値で、各学会のガイドラインが提唱している目標値に相当します。

少し前、人間ドック学会が基準値を発表して、LDL コレステロールは男性なら 72 ～ 178 mg /dl としたので、患者さんを診ている医師が提唱している値と異なり、健康の基準が緩和されたと話題になりました。この基準値は健康な人の 95% が入る値ですが、動脈硬化学会が公表している心筋梗塞を起こさないため、目標値は 140 mg /dl 以下です。さらに糖尿病があれば 120 mg /dl 以下、心筋梗塞をすでに起こした人の目標値は 100 mg /dl 以下とされており、臨床の間では臨床判断値が患者さん個人で変わります。

当院では、腎臓機能が低下した方が血液透析を受けておられますが、透析患者さんの臨床判断値は大きく異なり、たとえば尿素窒素は腎機能が正常な方は 8 ～ 20 mg /dl ですが、透析患者さんの透析前の尿素窒素は 70 ～ 90 mg /dl と大きく異なります。治療側はそのことを知って透析患者の治療をする必要があります、患者さんも知って欲しいのです。

以上のように基準範囲から外れていても心配ない場合もありますし、逆に外れていなくても治療が必要となる場合もあります。

検査の値が出たら本稿を参考に主治医の説明を受けて下さい。当院ではほとんどの場合、基準値を臨床判断値としております。

The image shows two pages of a medical reference chart. The left page is titled '血液・尿' (Blood/Urine) and the right page is titled '生化学' (Biochemistry). Both pages list various tests and their corresponding values or ranges. The left page includes tests like Hemoglobin (Hb), Hematocrit (Hct), and various enzymes. The right page includes tests like Electrolytes (Na, K, Cl, Ca), Liver Enzymes (ALT, AST, ALP, GPT), and Kidney Function Tests (Creatinine, BUN, eGFR). Each entry includes the test name, unit, and a range or value.

▲検査用紙

住み慣れた在宅生活に向けて

老健センターながお 在宅支援室

介護老人保健施設の役割・機能の基本には「在宅復帰支援」と「在宅生活支援」があります。当施設は、入所者・ご家族と医療・介護の多職種によるチームとなって、計画的に住み慣れた自宅への復帰を支援します。現在、在宅復帰率 50%以上などの要件を満たした「在宅強化型老健」となっています。

自宅での生活に不安を感じている方・ご家族に、今回は在宅復帰に向けた取り組みの一例をご紹介します。

A 様（男性・70 歳・要介護 4）は元々奥様と 2 人で自宅で生活されていましたが、硬膜下血腫発症による入院治療後のリハビリの継続、在宅復帰へ向けて在宅サービスの調整を目的に当施設に入所されました。入所後は、身体状況・ご家族の介護力・家屋環境などを踏まえ、チームでのカンファレンスを繰り返し、【訪問診療・訪問看護・訪問介護・ショートステイ（老

健ながお・特養）・福祉用具、定期的な老健入所（退所時に次回入所を計画）】のサービスを利用することで、ご家族の不安を解消し、ご自宅への退所となりました。写真は、退所前に自宅を訪問してご家族と老健チーム（作業療法士・ケアスタッフ・支援相談員）と他の居宅サービス事業所（ケアマネジャー・訪問介護・福祉用具）とも協働して退所後の計画を検討中の場面です。

在宅での生活には、本人はもちろんご家族にもチームの中心として協力していただく必要があります。私どもは、利用者・ご家族の想いをしっかりと受け止め、皆様の**在宅復帰と在宅生活**をご支援したいと思っています。



介護予防教室「65 歳からの健康づくり教室」実施中

社会福祉法人 順和 特別養護老人ホーム 鹿助荘 理学療法士 東 浩子

福岡市から月 2 回発行の「市政だより」により広報されている「65 歳からの健康づくり教室」の案内をご覧になったことはありますか？これは、介護予防や健康づくりのための簡単な運動を専門スタッフが講義・指導する教室です。

今年度、関連法人の施設の一つ「鹿助荘」では、6 月から 1 クール 5 回の教室を開催しました。5 回目が 7 月 13 日に無事終了し、参加された方々は、最初は慣れることに大変そうでしたが、最終日には「ためになった、一人では難しいがみんなと一緒にやると楽しい」と感想を持たれ、和気あいあいと誰とでもお話が弾むグループに変化しました。また、当教室では開始時と

終了時に体力測定を行い、終了時には全員に身体機能改善が見られました。その後は参加者で立ちあげた任意の運動グループ「蓮の会」を毎週水曜日の午前 10 時から開催しています。1 時間の運動の後は近況報告などで談笑されたり、フィットネスゲーム Wii®をされたりとリフレッシュして帰られています。

お申し込みなどは「市政だより」をご覧ください。資料は当施設にも置いています。

◎次回は 11 月末、また 3 月にも開催予定です。



外壁補修工事お知らせ

当院の現在の建物は、1998 年 11 月・1999 年 4 月（玄関・医事課・リハビリ室）と 2 期に渡りリニューアルされ、今秋で 18 年経過しました。

そこで、外壁老朽化に対応する補修及び屋上・ベランダ周りの防水工事を 9 月 1 日から実施しています。

工事期間中は、工事音などご迷惑をお掛けしますが、安全を最優先し工事を実施しています。ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

● **工事期間**：9 月 1 日～ 12 月下旬

「長尾病院前」バス停に上屋とベンチが設置されました

広報企画委員会

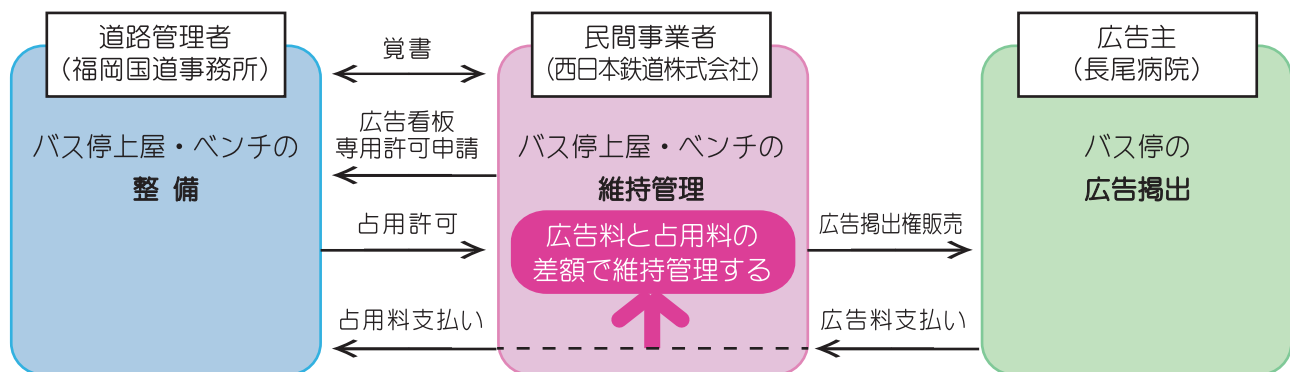
当院をご利用されている患者さんやご家族から、外環 1 番「長尾病院前」バス停の利用環境の改善のご要望を受けて、2014 年度から道路管理者である国土交通省福岡国道事務所や福岡市役所、バス民間事業者である西日本鉄道株式会社などの関係者と協議を重ねてまいりました。

その結果、国土交通省が進めている安全・安心にバスが利用できる「バス待ち環境改善」の一環で、パブリック・プライベート・パー

トナーシップ（以下 PPP）という官民連携の仕組みを活用し、2016 年 10 月 1 日に「長尾病院前」バス停での運用が開始されました。

PPP とは、公的主体である道路管理者がバス停の上屋とベンチを整備し、民間事業者が広告主からの広告料でバス停を維持管理していく取り組みになります。

当院では広告掲出などで今後も「長尾病院前」バス停の利用環境の向上に努め、定期的に清掃などに取り組んでいきたいと思ひます。



▲官民連携（PPP：パブリック・プライベート・パートナーシップ）の仕組み



▲上り線（西鉄大橋駅方面）バス停



▲下り線（福大病院方面）バス停

長尾病院外来担当一覧表

2016年11月1日現在

			月	火	水	木	金	土
内科	内科一般	午前	石田・山内	江崎・山内・立花	久留島	松浦・山内	久留島・山内	交代制
		午後	江崎・山内	立花	池之上	江崎(予約)・石田	山内	
	糖尿病・甲状腺	午前	浅野・山内	山内	浅野	山内	山内	園木
		午後	山内				山内	
	慢性腎臓病内科 高血圧内科	午前	服部	保利・吉光(予約)	服部・保利	服部(予約)・保利	服部	
		午後	保利					
	甲状腺・内分泌	午前						
		午後			池之上			
	リウマチ	午前	服部・浅山(予約)		服部・浅山(予約)	服部(予約)・浅山(予約)	服部	
		午後						
内視鏡内科	午前			谷口	谷口			
	午後			笠・谷口	谷口			
循環器内科	午前	石田		有村		竹内(予約)※	第2・4・5週	
	午後			有村	石田	竹内(予約)※		
脳卒中	午前	服部	立花	服部・久留島	薛	服部・久留島		
	午後		立花					
脳神経内科 (パーキンソン病)	午前							
	午後				井上(尚)			
脳神経内科	午前					小西		
	午後							
リハビリ・整形外科	午前	浅山(予約)		浅山(予約)	浅山(予約)			
	午後							
痙縮外来	午前							
	午後			浅山(予約)	服部(予約)			
リハビリ・高次脳機能障害	午前		田川(予約)			服部		
	午後							
リハビリ・えんげ障害	午前				薛			
	午後							
もの忘れ外来	午前							
	午後					濱田(予約)		
フットケア外来 (巻き爪矯正)	午前					竹内(予約)※	第2・4・5週	
	午後					竹内(予約)※		

診療科目

- ◆内科 脳神経内科・神経内科・脳内科・循環器内科
血管内科・糖尿病内科・内分泌内科
腎臓内科・人工透析内科・胃腸内科
内視鏡内科・老年内科
- ◆リハビリテーション科 ◆整形外科 ◆リウマチ科

診療時間

午前9時～午前12時(受付:午前11時30分まで)
午後1時～午後5時(受付:午後4時30分まで)
〔土曜日/午前中のみ〕

休診日

日曜・祝日・盆休み(8月14、15日)
年末年始(12月30日～1月3日)



● 基本理念 「一人ひとりのライフステージに応じた 最良の医療・福祉を提供する」

■ 発行/特定医療法人 順和

長尾病院
老健センターながお
Nagao HOSPITAL
ながお在宅ケアセンター

所在地/〒814-0153 福岡市城南区樋井川3-47-1
電 話/092-541-2035 FAX/092-541-2045
ホームページ/ <http://www.nagao.or.jp>

長尾病院

検索

◎誌面へのご意見・ご要望は長尾よかだより編集委員会までお寄せください。